

(様式)

平成25年度 久勝小学校「学力向上実行プラン」

久勝小学校長 川人 桂子 印

1 学力向上検討委員会構成

学 力 向 上 検 討 委 員		
	職 名 ・ 校務等担当名	氏 名
管理職	校 長・総括	川人 桂子
	教 頭・総括補佐	小林 秀樹
学力向上推進員	教 諭・特別支援	村上 哲治
委員	主幹教諭・教務主任	木村 誠治
	研修主任・3学年主任(中学年担当)	新居 敦子
	教 諭・2学年主任(低学年担当)	割石 誠子
	教 諭・5学年主任(高学年担当)	林 貴子

2 学力・学習状況における現状分析, 目標等

(1) 基礎的・基本的な知識・技能の習得

児 童 生 徒 の 状 況			
よ	漢字の読み書きや整数の四則計算などについては、ある程度の定着が見られる。	課 題	一部の子どもは、まだ基礎的・基本的な内容が十分身につけていない。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
宿題や日記を欠かさず提出でき、基礎的・基本的な知識・技能を確実に身につけることができる。		基礎的・基本的な事項についての定着確認テストで正答率を80%以上にする。	評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①朝の活動時に読解等の時間を設け、継続的に学習をし、定期的に確認テストを行う。 ②よいノート・日記の紹介等により賞賛する。 *中間期の見直し		①朝の活動計画表を作成し、週ごとに定着確認テストを行う。 ②よいノートの取り方を紹介し、学年だより等で紹介し、意欲を高めさせる。日記も学年便りで紹介する。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(2) 知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況			
よ さ	音読や発表など、表現することを好み、方法や手順が分かる学習には、まじめに取り組む。	課題	自分の課題や目的に応じて聞き取ったり、まとめたりする力、必要な情報を選択し筋道立てて説明する力に課題がある。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
目的に応じて、根拠や理由を明らかにしながら、自分の考えを進んで話したり書いたりできる。		「自分の考えを他の人に説明したり文章に書いたりするのは難しい」の割合を25%以下にする。	----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①授業のめあてを明示する。全ての授業で根拠を明らかにして自分の考えを説明するよう指導する。 ----- *中間期の見直し		①「自分で調べたことや考えたことを分かりやすく書かせる指導をしている」の割合を90%以上にする。	
達成状況を踏まえた改善事項			

(3) 主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況			
よ さ	与えられた課題に対しては、進んで取り組んでいる。	課題	自己肯定感が低い傾向にある。自分から課題を見つけて取り組むことが苦手である。
具体的目標(目指す子どもの姿)		成果指標	達成状況
家庭学習や課題について自分から取り組み、自信をもつことができる。		「自分にはよいところがある」児童の割合を80%以上にする	----- 評価
具体的方策(教員の取組)		取組指標	取組状況
①「家庭学習の手引」と連携した「がんばりカード」を作成し、家庭学習や読書、生活習慣に目標を持たせる。 ----- *中間期の見直し		①「家庭学習の手引」「がんばりカード」の活用が「できている」割合を90%以上にする。	
達成状況を踏まえた改善事項			